

金沢美術工芸大学との産学共同プロジェクトを実施

～『機能美を感じるドア』をテーマにデザイン案を考案～

大建工業株式会社(大阪市北区、社長:億田正則)は、当社の社会貢献活動の一つとして、産業デザインを志す学生に実務経験の場を提供すること、またそれら学生に対する当社認知度の向上や学生のアイデアを実際の製品開発に生かすことを目的に、金沢美術工芸大学との産学共同プロジェクトを昨年5月から12月にかけて実施しました。

【プロジェクトの概要】

多くの内装建材を扱う当社では、様々な形で産業デザインに携わっており、デザインという分野における人材育成の重要性を強く認識しております。そこで、当社の社会貢献活動の一つとして、産業デザインを学ぶ学生に実務経験の機会を設けたいと考え、この産学共同プロジェクトを実施する運びとなりました。

本プロジェクトのパートナーとして、当社内に出身者が多数在席している金沢美術工芸大学に協力を依頼し、志願した学生4名に参加いただきました。デザインする商材につきましては、同大学の近隣に所在する当社井波工場(富山県南砺市)で生産している「室内ドア」とし、デザインテーマを『次世代の暮らしに沿った機能美を感じるドア』と設定。参加者は、アイデア出しからデザインに落とし込むまで数回のプレゼンテーションを経て、「シェアハウス向けのドア」や「家族のコミュニケーションを豊かにするドア」、「間仕切りとしての機能と美しさを両立したドア」など、個性豊かなドアデザインを考案しました。

また、本プロジェクトの締めくくりとして、学生によって考案されたドアデザイン案をベースに当社にてモックアップ(実物大模型)を制作し、昨年12月13日、井波工場にて、実大試作プレゼンテーション会を開催しました。

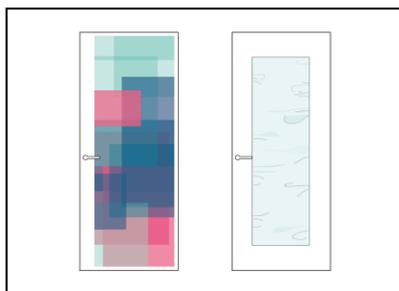
参加者からは「自分のアイデアが形になる感動を実感できた」「実際の“カタチ”に落とし込むことが、デザインを考案する上で重要だと気付いた」等の感想が聞かれるなど、今回プロジェクトに参加いただいたことは学生達にとって貴重な経験になったものと受け止めております。当社にとりましても、固定概念に縛られない学生ならではの柔軟な発想や斬新なアイデアに、開発スタッフは大いに刺激を受けており、今後の製品づくりに今回の経験が生かされるものと考えております。

なお、今回のプロジェクトで具現化されたドアデザインにつきましては、今後、社内外からヒアリングを行うなど、評価・検討を重ねながら製品化の可能性を見極めていく予定です。

プレゼンテーションの様子



学生による様々なデザイン案



提案されたドアデザインの一部



実物大模型を見学する学生達

<プロジェクトの流れ>

- 2017年5月末 プロジェクト発足、DAIKEN ショールーム・ドア製造工程見学会、
プレゼンテーションテーマ設定
- 2017年7～10月 中間プレゼンテーション会を3度開催
- 2017年12月13日 当社にて制作したモックアップを用いての実大試作プレゼンテーション会を開催
今後、1月から製品化に向けた社内での企画検討を開始

<参加学生概要>

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 デザイン科 環境デザイン専攻の学生4名
本プロジェクトの担当教授:北村 賢哉 准教授

以 上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧になられている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。